



全労連青年部ニュース

# YOUTH TOPIC

つながる・たたかう・支えあう青年部を

ホームページ <http://www.zenroren.gr.jp/jp/seinen/> ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/zenrourenpower>



# Rink!Link!Zero2017 in SHIZUOKA

2月28日、全労連青年部が参加するRing!Link!Zero 実行委員会(以降RLZ)は青年企画として「NO核兵器！初めの一步は署名から！その一步が世界を変える！Ring!Link!Zero2017 in SHIZUOKA」を開催。約60人が参加しました。

「NO核兵器！はじめの一步は署名から！その一步が世界を変える！」



RLZは2月28日夜、静岡駅北口周辺にて核兵器禁止条約締結をすべての国に求める『ヒバクシャ国際署名』を訴える署名宣伝行動を行い、60人を超える青年が参加しました。宣伝行動は4人一組で行われ、ヒバクシャ国際署名のほかに「核兵器をなくしたいですか？」「国連で核兵器禁止条約が議論されていることを知っていますか？」を質問するシール投票を行いました。シール投票では「核兵器はいらないと思っていたけど、なくせるんですね」「ニュースで日本政府が(禁止条約に)

反対していたのを見た。(米大統領の)トランプさんに付いていく感じもする。核兵器廃絶してほしい」といった声が聞かれました。街頭で署名をしてくれた人からは「日本が反対したことは社会の授業で聞いた。あまり深くは知らないが。核兵器は危ない。署名したのは初めて。超はずかしいー。署名って大人がするものだと思っていた。(感想は?)楽しかった。子どもでもできるんだって。少しは貢献できたかな？」(高校2年生)、「(日本が反対したことについて)とりあえずおかしいでしょ。署名したのは初めて。核兵器はない方がいいと思っているけど、同じ思いを持つ人がいるんだと共感できたから。核兵器を持っている国は、使ってしまったら地球がなくなるのはわかっているはず。脅しとしてでも持つのはよくない。日本は(原爆の)経験者として、ダメだと伝えるべき。被害の深刻さを伝えるべき。」(高校1年生)といった声が聞かれました。青年の「何とかしたい思い」「このままでいいのか」という声に応える核兵器廃絶に向けての展望を開く宣伝となりました。



# 給付制奨学金をもとめて

## 奨学金と青年の今



3月8日東京・日比谷公園で行われた3.8労働者総決起集会で国公一般書記次長の杵島さんが春闘を闘う青年の立場から学費・奨学金問題について発言しました。

学費、奨学金問題は社会的課題・問題であり学生の2人に1人は、奨学金を利用しないといけない現実を訴えたうえで知り合いの学生に奨学金を利用して大学に通っている、学生のAさんと奨学金を利用していないBさんについて触れました。

奨学金を利用しているAさんから、「奨学金を借りているけど、返せるか不安です。奨学金を借りてない人は、本当にうらやましいです。とりにかく将来の展望が描けない。」という深刻な話を聞きました。奨学金を借りていないBさんからも、「学費は、親が出してくれているが、教科書代や学校までの交通費（定期券代）などは、自分がバイトして稼げなければならない

い。バイトもあるからやりたい授業があっても選択することができないなど物事に優先順位もつけないといけない。だから、給付制奨学金を作って欲しい」という切実な声も出されています。

また全労連が今取り組んでいる奨学金アンケート寄せられた「奨学金の返済をしているから、今の仕事を辞めたくても辞められない。」「奨学金の返済をしているから、組合費が払えない。」「奨学金の返済をしているから、家賃や食費をおさえている。」などの声を紹介し、多くの青年から学費や奨学金の声を聞き、集め、憲法26条にある『すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する』を実現できるように、この春闘では、自分自身の要求として闘っていきたいと決意をのべました。



### 全労連奨学金アンケートに寄せられた青年の声

昨年12月より実施されている奨学金アンケートに寄せられた青年の声を紹介します。

「学費が払えずに滞納していたことがある。払えないと除籍すると言われてなんとか最大まで奨学金をかりて分納していた。」(20代女性)

「私立は学費が高かった。返還に関しては無利子にしてほしい。」(20代男性)

「奨学金の返還額が給与の10%以上、返済額の負担が大きく厳しい。」(20代女性)

「給与に対して返還金額が厳しい。利息が高い。経済状況によって返済額を自由に変更できるようにしてほしい」(30代)

などなど様々な青年の声が寄せられています。寄せられた青年の声は全労連青年部 Facebook (<https://www.facebook.com/%E5%85%A8%E5%8A%B4%E9%80%A3%E9%9D%92%E5%B9%B4%E9%83%A8-174072146305832/>)にて随時掲載しております。また奨学金に関するアンケートにつきましても奨学金を受けているご本人のみならずご家族の方でも構いませんのでご協力をお願いいたします。

アンケートWEB版URL

<http://www.smaster.jp/Sheet.aspx?SheetID=115646>

全労連青年部 Facebookにてアンケート用紙をダウンロードすることもできますのでそちらも併せてご利用ください。



奨学金アンケート